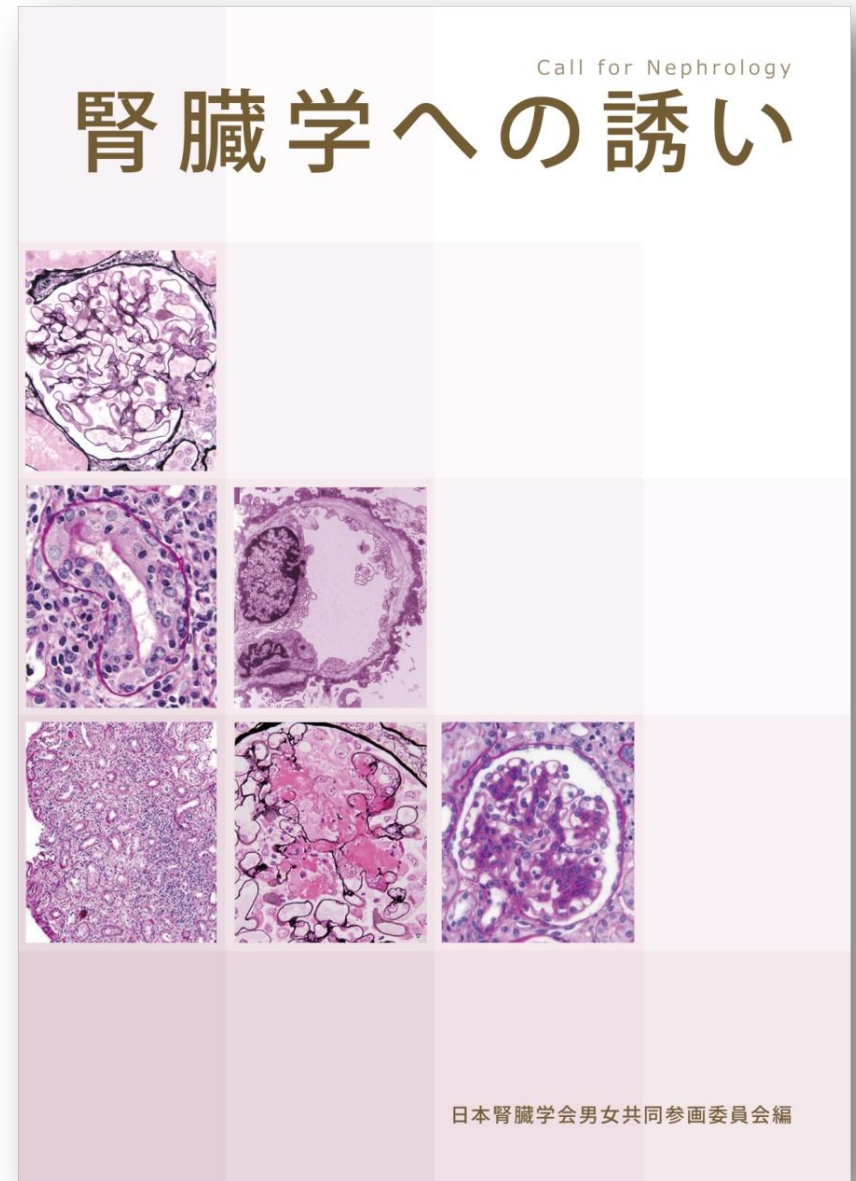


# 日本腎臓学会 男女共同参画委員会で パンフレットを 作成しました！

- タイトルは「腎臓学への誘い(いざない)」です。
- 腎臓学の幅の広さ、将来性を盛り込み、一人でも多くの医師と腎臓学の面白さを共有できたらと思い、作成しました。
- カバーの色は 男女共同参画委員の **こころ優しさ**を表現するpinkを基調にしました。



# 腎臓学とは

## 腎臓学とは

全身の血圧や体液平衡をつかさどり、老廃物の排泄を担い、さらに酸素の需要を造血に対応、またカルシウム代謝で骨格の形成にも中心的役割を果たす腎臓という臓器の偉大さ、守衛範囲の広さははかり知れません。病態やそれに対する治療も多彩で、単なる尿異常だけという進行予備軍からはじまり、腎炎・ネフローゼ症候群、さらに腎機能不全の進行に伴う諸症状、末期腎不全の代替療法の問題、また腎移植による再生医学の最先端までそのアプローチも多岐に及びます。多くの分野の疾患とも重なり、腎臓学を深めることは医師の基本である「患者さんの全身を診ること」で、チーム医療の大切さを実感することもできます。みなさん、是非一緒にこの分野に取り組みもうではありませんか？

## 腎臓学の発展性 ここに注目!

1. さまざまな病態に直結する腎臓の生理; 担当する領域は実に広い!
2. 検査異常から腎炎・腎症、腎不全、透析、腎移植に至るまで一貫した管理が可能であり、腎臓病の各ステージから抽出されるリサーチクエスチョンは無限大である。
3. 腎臓病は全身の疾患と密接に関連することが多く、全身をトータルに管理する診療法を身につけることが可能。
4. 腎臓の発生から腎臓病の成因の解明、さらには再生医療を目指した研究の進歩と可能性が開かれている。
5. 増え続ける慢性腎臓病 (CKD: chronic kidney disease) に対し、CKDの進展予防、さらには発症防止につながる診療方法の究明は、社会的ニーズが非常に高く、近年注目されている。
6. 世界でもトップクラスを誇る透析医療のさらなる発展。
7. 腎臓移植における免疫学、感染症学の研究と新たな手法への発展。
8. 他領域のあらゆる診療科と連携し、特に体液管理や血液浄化療法の現場で。
9. 他職種と協働したチーム医療も経験豊富で、腎臓病の各ステージにおける

# 腎臓学の発展性

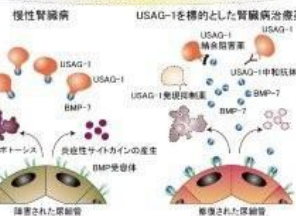
## 腎臓学の最前線 ほんの一部だけ紹介します。

### 基礎研究の魅力

慢性腎臓病の素因や進展増悪を担う分子機能的など、腎臓病学には興味深い未解明の分野がたくさんあります。私達は臨床の場であつた「なぜ? どうして?」をもとに基礎研究を行ない、明らかになったメカニズムをさらに臨床に還元することを目標にしています。



私達が発見した増殖因子USAG-1とそれを標的とした治療薬の可能性

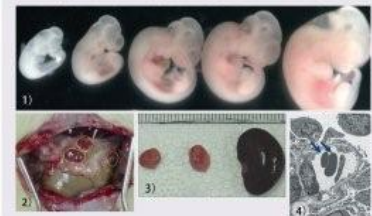


### 糸状体の微細構造

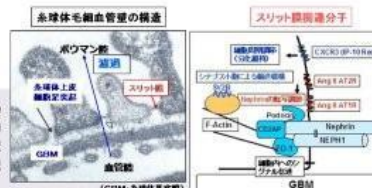
蛋白尿は腎障害の症状であるだけでなく、脳・心血管イベントの重要な危険因子であることが明らかになっています。蛋白尿を抑制する新規治療法の開発は喫緊の重要課題です。蛋白尿は、糸状体上皮細胞スリット膜の構造により発症することがわかってきました。糸状体治療法開発の標的分子となるスリット膜関連分子の探索を進めています。

### 腎臓の発生

透析に代わる新しい治療法として患者さんの腎臓をそのまま作り直してしまおうという腎臓再生研究も進んでいます。これは骨髄から採取した幹細胞を胎生の発生プログラムを用いて患者さん自身の腎臓に分化させる方法です。すでにラットでは成功しており大型動物での研究が進められています。



- 1) 上図は成長過程のラット胎仔です。この体内で発生シグナルを与えます。
- 2) 下左図はラット大腸内で育ったトド鼠系幹細胞由来腎臓です。(点線で囲った部分)
- 3) 下右図は上記の再生腎臓を移植した鼠、右は元のラット腎臓です。
- 4) この再生腎臓の電顕像と移植後腎臓にホストの免疫反応がより顕著している像を示しています。(つまりホストの免疫を抑制する発育剤であることを示しています。)



## 腎臓医の活躍の様子

臨床もいろいろです

Nephrologists have affluent variety of work field!



### クリニックでの臨床

腎臓学の臨床では、腎炎、保存期腎不全患者の診断・治療によって末期腎不全患者を可及的に減少させることに加え、末期腎不全患者の透析治療および腎移植の導入・移植後の管理に至るまで幅広く活躍できます。クリニックにおいても専門性に基づいた多岐な才能を発揮できる、やりがいのある臨床の毎日です。



### 基礎研究分野

基礎研究を行うことの意味は未知の病因の解明と新規治療法の開発ですが、研究を行うことにより疾患生理への理解を深め、日常臨床で行っていることの根拠などがよりよく理解できるようになります。originality と enthusiasm をもって、夢はStockholmへ。

### CLINICAL STUDIES 臨床研究も面白いですよ!



- ・ガイドラインの時代に、エビデンスを数値に裏付けし続けるのは、日本人にとって不慣れです。
- ・基礎研究と臨床研究は医学の両輪、若さがあるなら「研究=基礎研究」なる日本のドグマに挑戦しなさいか?
- ・元Playerの解説しお聞けたものではないですが、スポーツ中継だけではないのだから。

# 腎臓医の活躍の様子

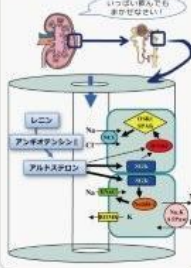
## 大学病院での臨床

大学病院では、教授や大勢のスタッフと共に、系統的に腎臓学を学ぶことができ、腎臓への理解がさらに深まります。



## 慌々と仕事をこなす腎臓

そこには組織で巧みに仕組みがはいっています!



## 一般病院での臨床

疾患異なから腎不全、腎移植後までの腎疾患を見るだけでなく心血管系合併症や感染症まで幅広い診療が実施できます。



Invasive な治療法も日常的に行われています。



腎臓学の臨床では複雑に絡み合った病態を持つ症例も多く、複数の臨床診療科との共同カンファレンスも重要です。また、腎臓カンファレンスも頻回や企画型の研修は欠かせません。

### PATHOLOGY

## 腎臓学には病理は欠かせません!

患者さんを見て、腎生検組織を見て、そのきれいでと平素謙遜に、患者と形勢の関連を考えると、腎生検病理診断を通して形態解剖を行うことは腎臓内科医の特権であり、必修課題です。患者さんの過去・現在・未来のつまった臓器鏡の中の美しい世界へ入ってみましょう。



### EDUCATION

## 教育は基本ですよ!

大学病院では、学生への腎臓学の講義も重要な仕事のひとつです。「腎臓学は難しい」といわれる方がいますが、腎臓病は難しくても、あわよくば腎臓学を専門とする後輩の輩出を期待しながら講義をしています。



# 認定専門医までの道程とキャリアアッププラン

## 日本腎臓学会認定専門医までの道程と更なるキャリアアッププラン



理事：日本腎臓学会男女共同参画委員会

発行：2010.2.1

## 男女共同参画委員の 設立の経緯

### 男女共同参画委員会の設立の経緯

わが国の女性医師が医師全体に占める割合は約17%ですが、年々増加しており、医学部卒業生のうち33%が女性となりました。一方、勤務先の先生方の労働環境は厳しく、その中で女性医師が出産、育児などを経て、そのキャリアを維持していくことは困難で、また幹部への昇進の機会も十分でなく、勤務医全体のモチベーション低下を招くという医業全体の問題が2005年ごろから表面化していました。日本腎臓学会でもその会員数に占める女性医師数は増えてきており、男女を問わずその会員が腎臓学を専攻する熱意を維持するために、またさらなる会員の増加により腎臓学を志した医師としての自己実現を目指してもらうために、学会としての取り組みが必要であることが認識され、日本女性腎臓医の会 (Japanese Society of Woman Nephrologist: JSWN: 2002年創設) の有志から、歴代本学会の理事長先生へ委員会設立の必要性を働き掛けていました。2006年、委員会設立趣意書作成の差請が理事会からあり、第一期の委員の陣容も男女、地域をかんがみて選定され、2006年12月の理事会での正式認証をへて活動を開始し、翌2007年5月の第50回総会において、設立シンポジウムが盛況裡に開催されました。この委員会のミッションとゴール(表)に沿って、その後の活動は活発に展開されており、委員の増加、さらにオプザーバーの方々参加など、ますます多彩となりつつあります。皆様のご注文、ご意見を、ご参加を歓迎します。



ご希望の方は……

日本腎臓学会事務局  
[office@jsn.or.jp](mailto:office@jsn.or.jp)

へメールで配送依頼してください。

着払い宅急便で送らせていただきます。

日本腎臓学会男女共同参画委員会  
Mission (使命) ・ Goal (到達目標) ・ Strategy (方策)

- Mission (使命)  
多くの医師が、個々の仕事、生活の多様性を尊重しつつ、腎臓学への取り組みを通じて男女共同で支える豊かな医療を推進する
- Goal (到達目標) と Strategy (方策)
  1. 次世代の腎臓学の担い手を育てるため、増えている女性医師への啓発、広報をおこなって専門医志望者の増加をうながし、ゆとりある医療、研究の場を提供する
    - ・ 初期研修での腎臓学の啓発と女子医学生への教育 (研修セミナーへの参加)
    - ・ HPでの、委員会設立広報 (設立完了、止観中)
    - ・ 総会でのシンポジウム開催と展示ブースの開設 (実行中)
    - ・ 国内外の学会との連携
  2. 各部門のリーダーとなる医師を性差なく押し上げ、男女共同して腎臓学の医療、研究、教育の充実をはかる
    - ・ 人材発掘と登用 (女性評議員、産長の増加)

腎臓学を目指す仲間の輪をさらにひろげるため、是非お役立てください。